

1. **PERSON** 昭和・平成の政治学者・政治家。日本的なファシズムを天皇(=神)中心の超国家主義であり、それは国民に自由で独立した近代的自我がないことに由来するとして、西洋的近代化の徹底を主張した。 1
2. **BOOK** 1961年刊行の丸山真男の主著で、ベストセラーの新書。日本人が全体主義や権威主義に弱いのは、概念的思考を軽んじて西田哲学の純粹経験的な直感や心情に頼り思考を構造化しない「無構造の伝統」と、共同体の同質化作用に対する反逆精神の欠如のせいであると主張した。 2
3. **BOOK** 1952年刊行の丸山真男の主著で、明治期の啓蒙思想による西洋の近代思想の受容以外に、江戸期の儒学や国学に日本独自の近代的精神の芽生えを認めた。 3
4. **PERSON** 昭和の文芸評論家。西洋文化の研究を通して日本文化を再評価した。特に母国語こそが個人を運命的に規定すると説き、伝統文化の重視を主張。 4
5. グローバル時代の日本に必要な考え方の一つで、人類に普遍的な価値を重んじる態度。これと対照的な文化多元主義(文化相対主義)との両立が大事。例えば、民主主義、人権、共生。 5
6. グローバル時代の日本に必要な考え方の一つで、様々な民族や国民の個別的な価値(アイデンティティや持ち味)を重んじる態度。これと対照的な文化普遍主義との両立が大事。例えば、日本の「情緒力」(自然や他者への感受性)。 6
7. 14世紀にイタリアで始まり、古代ギリシア・ローマの文芸復興や人間性の解放を目指したヨーロッパ近代の幕開けとされる文化活動。「再生」を意味するフランス語。 7
8. ルネサンスの本質である人文主義や人間(中心)主義を意味し、中世のキリスト教会や神の束縛から脱して人間のありのままの姿を肯定する精神。 8
9. **PERSON** 13世紀末に永遠の恋人ベアトリーチェへの愛の叙事詩『新生』を著した、ルネサンスの祖とされるフィレンツェ生まれの人物。 9
10. **BOOK** ダンテが14世紀初めにイタリア語の地方の口語(話し言葉で民衆にも読めるもの)であるトスカナ語で書いた大叙事詩で、ローマの叙事詩人ヴェルギリウスの霊に導かれて地獄・煉獄・天国を巡る物語。 10
11. **PERSON** 15世紀、イタリアの人文主義者。「人間は自由意志によって創造者にもなりうる」として、『人間の尊厳について』を著した。 11
12. **BOOK** 15世紀、イタリアの人文主義者ピコ＝デラ＝ミランドラの主著で、「人間は自由意志によって神に近づくことも、獣に近づくこともできる」と主張。 12
13. ダ＝ヴィンチに代表される、「可能性としての優れた能力を完全に実現」したルネサンスの理想的人間像。 13
14. **PERSON** 15・16世紀、ルネサンス的万能の天才で、「モナ＝リザ」や「最後の晩餐」を描いた画家。 14

T. Q. 「丸山真男と小林秀雄の政治的スタンスの違いとは？」

T. A.

丸山は日本的ファシズムを批判して西洋的近代化の徹底を説き、日本人が持つ思想のある意味での危険性を指摘した。小林は西洋文化の研究を通して日本文化を再評価しようとし、政治的には戦争を肯定する立場であった。